

# 北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

## 部会名

令和3年度 第2回 幹事会

## 開催日時

令和3年6月24日(木) 14:30~16:00

## 参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課・健康づくり支援課、中野市福祉課、飯山市保健福祉課、山ノ内町健康福祉課、木島平村民生課、野沢温泉村民生課、栄村民生課、高水福祉会、北信圏域障害者総合相談支援センター

## 本日のテーマ、課題等

- ①相談支援専門員からの活動報告(4~6月の活動より) ③第一回自立支援協議会の報告  
②地域生活支援拠点等の機能を担う事業所の認定について ⑤その他  
④長野県自立支援協議会の報告

## 会議で話し合われた事

### ① 相談支援専門員からの報告(4~6月の活動より)

#### ○療育

- ・地域の子供に係る相談の仕組みの従来からある園訪問や教育相談と、障害福祉サービスである保育所等訪問支援において、両者の役割の境界や保育所等訪問支援の妥当性が曖昧になりつつある。整理・具体化し関係各所との共通の認識を広めていく必要がある。

#### ○就業・生活支援センター

- ・地域行政や就労継続支援事業所の理解、協力の元、就労アセスメントの新しいスタイルが模索されている。
- ・北信圏域出身で圏域外の特別支援学校を卒業し圏域外の企業に障害者雇用枠で就職した方が虐待を受けているとの報告があり、虐待案件として市町村に通報した。

#### ○安心コーディネーター

- ・昨年度、コロナウイルスに関する支援として、一人暮らし又は家族の支援が見込めない方の安否確認を電話や訪問で行ってきた。
- ・北信圏域内の2か所の入所施設の聞き取りを行った。両施設とも重度高齢化が進みマンツーマンでの対応が必要な方が増えている。ご本人の日々の行動や言葉からニーズを把握し、GHへの地域移行を希望される方については、GHの見学などを進めていく必要がある。

#### ○基幹相談

- ・児童福祉サービスについて相談があった際、行政と委託相談が関わり入口の相談に乗っている。
- ・信州パーソナル・サポート事業支援会議に参加(野沢温泉村)。
- ・佐藤病院と入院者の退院に向けての会議を計画的に実施。

### ② 地域生活支援拠点等の機能を担う事業所の認定について

- ・平成30年度から地域生活支援拠点等の機能を担う事業所について、市町村の認定が必要になり、北信圏域では8事業所が認定となった。今年度は、認定の協力を得られるよう認定事業所を含めたすべての事業所に通知し申請してもらい地域に認定の事業所が増えるよう進めていく。

### ③ 第一回自立支援協議会の報告

- ・第一回の自立支援協議会は書面決議で行われ、すべての議案について、過半数の賛成をもって可決された。

④ **長野県自立支援協議会の報告**

- ・ 第一回長野県自立支援協議会は6月10日にWEB開催。
- ・ 長野県自立支援協議会の会長に丸山 哲 氏が選出された。
- ・ 各部会の活動計画が承諾された。
- ・ 「断らない」をキーワードにした障がい者の支援体制の構築に向けた検討が行われている。
- ・ 主任相談支援専門員の役割の明確化と活躍の場についての検討が行われている。

⑤ **その他**

- ・ 地域生活支援拠点等事業の空床配置について、7月より「はるかぜ：2床」から「はるかぜ：1床・ながみね：1床」に変更となり、これに伴う委託料の契約変更を行う。
- ・ 一人暮らし体験事業の部屋を他目的で使用した期間があった件について、当該事業非対象期間分の委託料の契約変更を行う。
- ・ 各市町村から個別避難計画の作成進捗状況の報告。